

### 洪水から市民を守れ 「多摩川水系野川流域 河川整備計画」について

**問** ①都の「多摩川水系野川流域河川整備計画」の概要は。②近年局所的集中豪雨が多発傾向にあり治水や安全度の向上の政策を検討することが求められている。河川特性も考え、親水性や環境に配慮しながら、長期的展望に立脚した意見表明が必要である。狛江市としての意見集約及び意見表明の方法は。

**答** ①河川法の改正により、環境の項目が加えられ、地域の意見を取り入れ、今後の川づくりに具体的に反映していくための計画である。②野川環境向上委員会を初めとする関係団体や野川流域連絡会等の意見を参考として、環境保全審議会において意見が集約されたものを考慮して意見表明する。

### 井上 城治

### 小学校・中学校生徒の 「生活指導」について

**問** ①8月に新聞報道された市内中学校の事件の記録を教育機関等で分析し、資料としてまとめ再発防止マニュアルとして活用できないか。②現在の中学生対象の授業改善目的アンケートを関係機関と協力し、生活環境とか生徒自身の気持を出せるような項目を加える等、内容の充実を検討できないか。

**答** ①児童・生徒、学校にかかわる諸問題は市内外に数多くある。それらと合わせて今後の生活指導に役立てていきたい。②中学校では授業改善を目的にしたアンケートや学校生活を含めた学校評価アンケートなどを実施している。より充実したものになるよう努める。

### 狛江市の 文化政策について

**問** ①狛江市古民家園は約14億円の事業費をかけ平成14年4月に開園した。その後の維持費はどれほどか。②屋根材の力やを鳥が引き抜くとも聞く。それを含め、補修も視野に入れなければならない。補修についての考えは。③平成11年に寄贈を受けた長屋門の保存状況と今後の復元予定は。

**答** ①14年度約765万円、15年度約862万円、16年度約753万円、17年度当初予算で656万円。②茅葺き屋根補修は毎年行っており、5年から10年ぐらいいを目安に行い、全面葺き替えは概ね20年を目安に考えている。③財政基盤の確立状況や部材の保存状況を見ながら、その復元に努めていく。

### 高橋 清治

### 田岡 恭子

### 介護保険制度改革に 伴う狛江市の 対応について

**問** 6月22日、介護保険改革法が自民・公明・民主の賛成で可決した。この改悪法は、予防名目で軽度者のサービス制限を行うと同時に施設入所者の居住と食費を新たに負担させることになるが、どのくらいとなるのか。また、負担軽減は申請主義となつているがどう徹底させるのか問う。

**答** 額については特定入所者介護費としての請求後の把握となる。軽減額は介護保険負担限度額減額認定申請書による申請になり、広報で周知するが、対象者には個別送付する。

### 児童の放課後対策に ついて

**問** 松原学童の定員超過対策として始まった一小での放課後クラブは現在どのようになっているのか。放課後クラブとフリースペースが同室で運営されているが、おやつやの時間にならばカーテン一枚で間仕切りをしているが、とても狭いので1室ふやすことについて問う。

**答** 16年度4月の入所者は13名、同17年は25名。教室の転用は困難である。

### 西村 あつ子

### アスベスト対策に ついて

**問** ①アスベストについての相談状況は。②市内から出るアスベスト含有の電化製品等は別処理をしているのか。③商業施設等での使用状況の把握は。④撤去や指導は。⑤公立外

**答** ①相談件数は17件。②産業廃棄物として処理する。③民間施設は、自主検査をお願いしている。④含有量調査等をお願いしている。⑤私立の認可外・認証保育所については使用しない。⑥アルコロールランプに使用する金網を回収。給食調理釜3基を取り替え設置。⑦市長会等を通して要望していく。

### 田辺 良彦

### 30人学級など少人数 学級の実現のために

**問** 国の制度の変更によって、東京都の同意がなくても狛江市において少人数学級を実施することができるようになる。加配教員を活用すれば、市の新たな人件費負担なく、小学校1・2年生と中学校1年生で35人学級を実施することが可能と思つていただきたい。

**答** 「教職員配置等の在り方に関する調査研究協力者会議」の中間報告にある方向で教員配置や学級編成の権限など法整備の検討が進められていると聞いている。いろいろなことを想定して、学校の裁量によるのか、教育委員会として学級編成のガイドラインをつくるのか、等々多面的検討をしていく。

### 藤田 鋭

### 住みよい まちづくりについて

**問** ①松場通り岩戸4-9付近は喜多見駅へ行き来する人と車両が交叉し大変危険だ。横断歩道の設置を要望する。「都市計画道路が先」との警察の見解は、危険を放置するに等しく納得できない。再度要請していただきたいがどうか。②一の橋バス停(狛江行)にベンチを設置していただきたいがどうか。

**答** ①危険な状況は認識している。改めて調布警察署にいろいろな形で改善ができないか、市として協力していく内容も含めて要望していきたい。②道路を占有してベンチを設置するには幾通りかの基準がある。バス停にベンチを設置するのはバス会社になるが、都道であれば都の許可が必要となる。

### 鈴木 えつお

### 市内循環コミュニティ バスの運営について

**問** 現在運行されている福祉バスの利用状況と利用条件はどうなっているか。南部地域から慈恵病院や総合体育館にも行けたら大変便利になるし、市民の交流も広がる。福祉バスの利用制限をなくして、市内どこでも行けるコミュニティバス(三多摩16市で導入されている)に充実発展できないか。

**答** 1日平均で見ると16年度は130人が利用。福祉関係の目的を主に特定旅客運送が許可ケースにより柔軟に対応している。コミュニティバスの導入は、既存バス路線とのルートの関係、経費の問題や福祉バスの利用状況などを含めて検討を重ねていく。

### 水道道路の 整備について

**問** 水道道路は数年前に電柱の移設と歩道の整備が行われたが、歩道の狭さは変わらず、「歩きにくい」車も多く怖

**答** いなどの声が寄せられている。東京都が今後の都市計画道路の整備方針を今年度中にまとめる。聞いたが、市として水道道路の整備を都に強く働きかけてほしいと思うがどうか。

### 空き家の管理について

**問** 空き家のまま長い間放置され、生い茂った樹木が近隣の住宅に侵入し迷惑をかけている家がある。道路の通行に支障が出たり、不審者が住み着いてパトカーが出動する騒ぎにもなっている。私も所有者に適切な管理をするよう手紙を書いたが、市としても所有者に強力に働きかけてほしいが。

**答** 空き家の防犯・防火は調布警察署、狛江消防署の重点的な巡視の要請をしていく。樹木等が公道上に出て、通行に支障が出ているものは、所有者及び関係者に対し、根気よく適正管理をするようお願いしていく。

